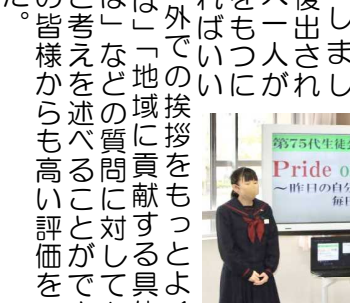

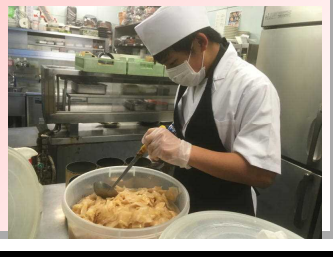

常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和3年3月15日
鹿児島市立伊敷中学校

過去が咲いている今
未来の蕾で一杯な今

校長　河瀬　雅之

　卒業を目前に控え、三年生の保護者の皆さんは感慨もひとしおのことと思います。これまであまたの困難を乗り越え、今日の日を迎えられたことでしょう。時には子供に期待を裏切られることもあったかもしれません。

　子育ては子供が親を乗りこえていくという構造上、いつまでも親の思うままに進まないのは当然。**自己を確立していく過程で親や教師に忍耐や変革を要求するのは、困難を乗りこえる成長の姿と捉える必要があります。**

　子供が親の思いからそれてしまいそうになったとき、心配で心配でたまらなくなるのが親心。一緒に「何とかしてあげたい。」という気持ちが働くのは当然ですが、時にはじっと我慢することも必要です。経験上**困難を自分の力で乗りこえることができたとき、子供は初めて本物の力を得るような気がします。**

　もし、黙って見守るだけでは不安なときには**親が子を思う素直な気持ちを正面からじっくり語ってあげてください。**

　子供が壁にぶつかり困っているとき、親が寄り添い、ともに悩んであげることは、子供にとってどれだけ心強いことでしょう。一方、関わりすぎてしまうと成長の妨げになってしまう。そこが子育ての難しさです。

　親は愛情が深いほど子供の気持ちと同化し、時には一緒に他者を責めたくなるかもしれません。しかし、**誰かを責めてその場を乗りこえたとしても、それは問題の先送りにしかなりません。**

　そんなときには、「何とかなる。」「長い目でみればほんの一瞬のこと」「先見て進めば過去はいくらでも取り戻せる」など、**前向きな言葉のシャワーをたくさん浴びせてあげてください。前向きな言葉は、子供がエネルギーを蓄え、自ら問題を乗りこえる上で大きな勇気となります。**

　話は変わりますが、先日、以前勤務した学校の保護者から、**当時の教え子が、県下一週駅伝の選手に選ばれた**という連絡をいただきました。

　その生徒は、勤務当時、まだ中一で、整列する際にはいつも一番前になるくらい小柄でした。体力をつけさせたいという親の願いもあり、駅伝部に所属こそしていたものの、体育大会の長距離走では周回遅れ、それでも最後まで懸命に走る生徒でした。

　転勤後、その生徒が出場する駅伝大会を応援に行ったことがありますが、そこにも、決して目立たないものの自分の使命を黙々と果たそうとする生徒の姿がありました。

　それから五年、その生徒が今では強豪ひしめく県下一周駅伝の選手名簿に堂々と名前を連ねています。記録は区間1位。**良い意味で期待を裏切られ、久しぶりに見る新聞の顔写真に目頭が熱くなるのを感じました。**

　人間は自分を疑わずに、努力を続ければ、必ずチャンスが巡ってくるものです。今回の出来事は教員として**子供の可能性を信じることの大切さを改めて実感するものとなりました。**

　明日はいよいよ、伊敷中学校第74回卒業式。卒業生にも**本校で学び得た力を今後存分に発揮し、いい意味で「親」の「教師」の期待を裏切ってもらいたいと思います。**

　卒業生二百五名の皆さん。卒業おめでとう。**「未来の蕾で一杯な今」に乾杯。**

慣れても、馴れるな

　２月16日(火)の全校朝会は、１年生後期総務・副総務によるソシオドラマの発表でした。コンパスを忘れた主人公は、「バレなければ大丈夫」と安易な考えから、友だちに借りるものの、それをなくしてしまい、友だちとの関係が悪くなってしまいます。家に帰宅した主人公は、事情を聞いた父親から「慣れても馴れるな」と言われ、これまでを振り返り、自分の行動の軽率さに気付きます。そして、翌日、「今後貸し借りはしない。忘れものをしたら正直に言う」と皆に宣言するという内容でした。

　現在の自分たちの行動の中にある「馴れ」の状況に気付かせ、今後どういった行動をとるべきかを考えさせるソシオドラマでした。

A 気持ち良く貸す
B 仕方なく貸す

たくましい姿

　３月４日（木）に第３回学校評議委員会が実施されました。学校評議委員会とは、評議委員６名に学校の取組を説明し、ご意見をいただく会で毎学期実施しています。今回は、説明の一端を第75代生徒会の峯苫さん、町田さん、皆倉さんが担い、学校の様子や生徒会活動の取組について説明しました。その後出された、「一人一人がプライドをもつにはどうすればいいか」「学校外での挨拶をもっとよくするためには」「地域に貢献する具体的な手立ては」などの質問に対しても、しっかりと考えを述べることができ、評議委員の皆様からも高い評価をいただきました。

第75代生徒会スローガン
Pride of 伊敷
～昨日の自分を毎日超える～

３年功労賞受賞式

　３月２日(火)のリモートによる全校朝会では、３年生の功労賞受賞式を行いました。功労賞は、学級に貢献した生徒をたたえるものです。

　各学級５名が選出され代表として２組の村上彩英さんが校長先生から賞状を受け取りました。功労賞を受賞した全ての生徒に、凜々しい表情がありました。

　これからも、生徒の小さな活躍にスポットを当てていきたいと思います。

4月 主な行事予定

6日（火）	始業式　第75回入学式
7日（水）	標準学力検査（1･2年）
8日（木）	標準学力検査（1･2年）
	知能検査（1年）
9日（金）	身体測定（1年）避難訓練
12日（月）	部活動紹介式
	身体測定（2･3年）
13日（火）	授業参観　PTA（全学年）
14日（水）	交通安全教室（1年）
	尿検査（1次）
20日（火）	学習適応授業　部活動発会式
22日（木）	グリーンタイム
23日（金）	一日遠足
27日（火）	授業参観　PTA総会

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する場合があります。

＜お知らせ　＞
辞任式は年間予定で示した日よりも早め，３月25日（木）11:35から実施します。

中学校生活最後のクラスマッチ

　11日(木)，３年生にとって中学校生活最後のクラスマッチが実施されました。昨年は新型コロナウイルス感染防止対策による緊急事態宣言が出され，休校となりクラスマッチを実施することができませんでした。

　あれから１年。今年は，体育班が中心となって企画・運営を新型コロナウイルス感染防止対策とりながら実施しました。競技はバスケットボールサッカー，バレーボールに分かれ，全クラス総当たり戦での実施でした。仲間との絆を深め，笑顔があふれ，クラスマッチを思いっきり楽しんでいました。

勤労観・職業観を学ぶ

　２月17日(水)～19日(金)，２年生による職場体験学習がありました。コロナ禍の中，安全な実施について時間をかけ準備してきましたが，多くの事業所から理解と協力が得られ，無事実施することができました。

　南日本新聞「若い目」に掲載された，壽福ゆめのさんの体験後の感想には「働くことは楽しい。働くことはつらく疲れることもあるかもしれません。しかし，それだけではないことを今回学びました。」とありました。

　今回の学習を通して，働くことの意義や職業に対する意識を高め，望ましい職業観や勤労観を育むことができました。